

金沢衛生管理者研究会 Q&A

●健康経営の意義と目的は

Q. メリットを経営層及び社内に理解し、取り組む手順とは

(お答えいただいた事業所の業種→保健医療業で中規模)

A.

基本的な取り組み手順は労働安全衛生マネジメントシステムの指針とほぼ同様で、違和感が少ないと思われる。

① 経営者が健康経営に取り組むことを宣言する。

※ヒント→あれこれ難しく考えるより、一步踏み出すことが大切。従業員の健康も行動に移さない限り、前に進まない。

② 組織体制を作る。

※ヒント→社内で協力してくれそうな人を見つけ、経営者自身の健康経営を始めたいという思いを伝え、協力してもらう。今後の健康経営推進のリーダー候補を発掘する。

③ 健康課題を把握する。

※ヒント→肩こり・腰痛など「職場でよくある健康課題」に対して、ストレッチなどを行い「気持ちがいいな」と実感してもらう。

・健康経営の事例の中で自社でもまねできそうなことを実施してみる。

・初めの参加者はやる気がある少人数だけで OK。社風になっていけば人数も増える。

・全社員の健康診断の傾向(全国平均や部署ごとの比較)やストレスチェックの結果を共有し、課題を明確に示すと興味を持って聞いてくれる。これを解決することで、会社や従業員にどういうメリットがあるか、その為に皆にどうしてほしいのかを伝えることが大切である。

・健康管理の目的で会社が従業員の健康診断結果を把握することは労働安全衛生法で定められている。こういうことをしっかり伝えることで、従業員は安心して参加できる

④ 課題解決のための計画立案し、実行する。

⑤ 取り組みを評価し、改善する。